

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
天津大学建築学院

2015 年度国際建築・都市設計ワークショップ

「Public Space Revitalization by Connecting Two Urban Axes」



大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コースでは、2015年5月25日(月)から29日(金)までの5日間、名古屋大学東山キャンパス環境総合館1階レクチャーホールを主会場として、中国の天津大学と合同で、建築・都市設計ワークショップを開催しました。今回は天津大学の都市計画や建築を専攻する大学院生・学部生8名と名古屋大学建築学コースの大学院生17名(うち2名はNUPACE留学生としてパリのENSA-PVSから名古屋大学に在籍中)の計25名が参加しました。ワークショップの指導は、鄭穎副教授(天津大学)、小松尚准教授、高取千佳助教(名古屋大学)と4名のティーチングアシスタントが行いました。

本ワークショップは、名古屋大学建築学コースと天津大学の修士課程学生を対象に、異なる文化的背景を持った学生同士がコミュニケーションを取りながら一つの建築・都市デザインの提案をまとめる機会として2009年から開催しています。

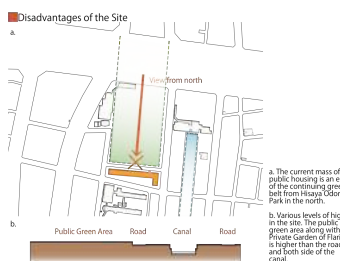
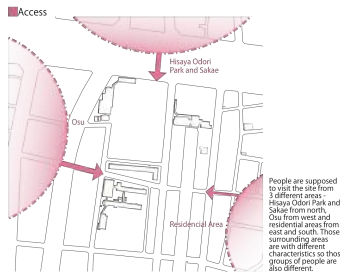
今年は、名古屋の都心の特徴付ける2つの都市軸(久屋大通と新堀川)をつなぐエリアを対象に、公共空間や商業・居住空間の整備、新堀川を活かした水と風の道のデザイン、減災等をテーマに、建築・都市デザイン提案を検討しました。2つの都市軸の接点にはフラリエや堀留水処理センター、公営住宅、中学校など公共施設が集積し、久屋大通公園と新堀川という公共空間、都市インフラを有機的につなぐための条件が整っています。同時に、都市スケールと建築スケールの各地域の特性に応じた地区スケールの計画が重要となります。

参加学生は両大学の学生が混成する4つのグループに分かれ、導入講義の後、対象エリアを現地踏査した上で、建築・都市デザインに関わる分析と提案に向けた協働作業を行いました。1日目は名古屋の都市計画・まちづくりとランドスケープ・デザインに関する講義を受け、現地見学に基づき課題や魅力を共有、分析し、2日目以降はグループ作業を行い、3日目には中間発表会、5日目の夕方には成果発表会と送別会を行いました。この間、4日目には豊田講堂の見学も行いました。成果発表会では、各グループの調査・提案が図面(A1版4枚)と模型によって発表されました。時間の制限はあったものの、どの提案も今後の建築・都市デザインの参考になる刺激的な内容でした。また成果発表会には名古屋大学の教員と学生だけでなく、名古屋の行政関係者や建築・都市デザイン関係者も来場し、意見交換が行われました。

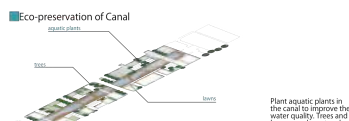
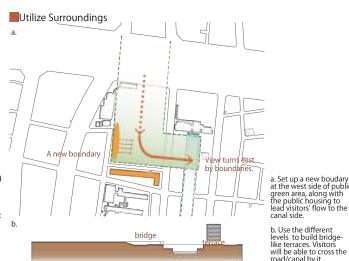
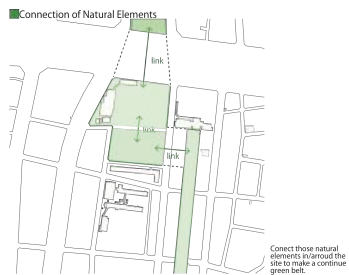
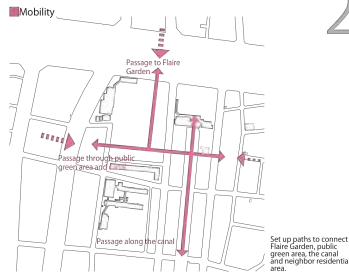
本パンフレットは、ワークショップの成果物をまとめたものです。



from ANALYSIS

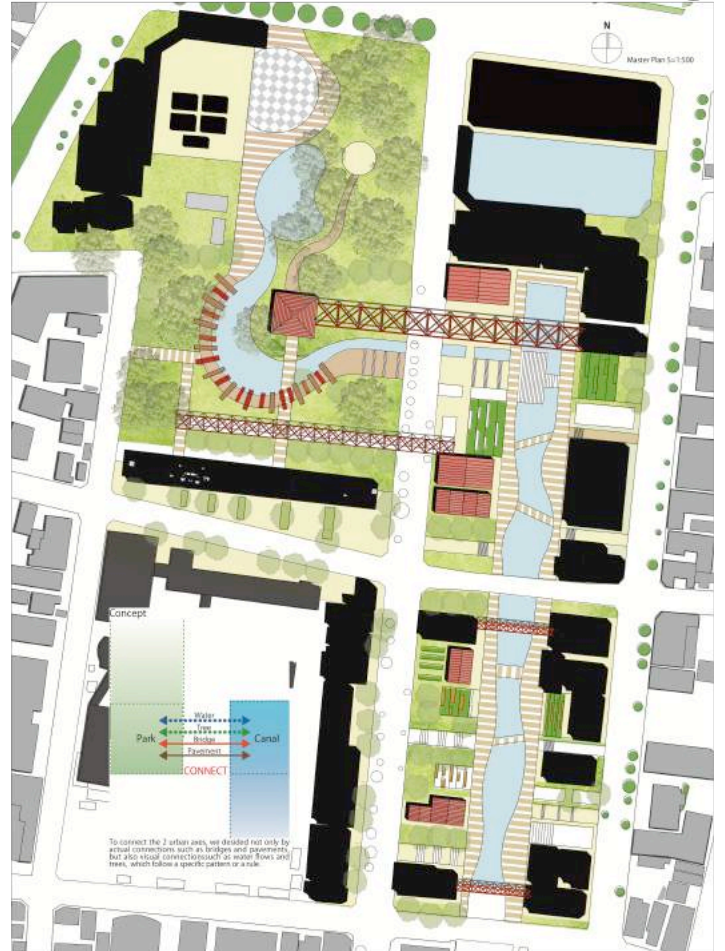


to STRATEGY



2

A connected park system at various levels.



3

■概要

今回、私たちのグループは、「マルチレベルの連結」というテーマを主軸とし、敷地内における、名古屋都心部「緑の軸」である久屋大通公園の南端と、「水の軸」である新堀川運河の北端地域を連結する緑地・公共オープンスペースを計画した。具体的には、敷地内の公園とその北側の「フリエ庭園」を久屋大通公園の緑化パターンで再整備し、敷地本来のレベル差を利用し、歩道橋・デッキ・舗装・緑化という多様なレベル（マルチレベル）で、公園と運河、または運河の兩岸を物理的にまたは視覚的に連結した。

そしてまた、オープンスペースとなる敷地に圧迫感を与えている当該敷地南面に位置する公営住宅を再設計し、既存の構造体は残したままボイドをあけることで圧迫感を軽減した。そしてその周りの緑地と商業施設を計画し、緑地沿いや川沿いのにぎわい創出を狙った。

■メンバー

- GSES-NU
- SAITO Koji
 - YUAN Cong
 - KANEKO Koki
 - HOANG Thi Nga

Tianjin Univ.

- QI Yifan
- ZHU Dong



■概要

計画対象地は周辺にある栄や久屋大通、大須商店街などの商業施設が集まった地域に比べてやや内側に入った落ち着いた雰囲気をもっていた。そのことからこの場所は周辺の賑わいのある場所から見ると都市の backyard(バックヤード)になっているのではないかと考えた。

最も裏側のような装いをもっている堀川沿いの奥まった空間に人の滞留をうながす歩道をつくり、コモン空間・個人空間を創造した。川沿いに建つビルでは低層部をオープンな空間として開放することで川縁へと人を誘いながらも、道路と川との高低差を利用した奥まった空間を残している。この場所には周辺にある商業地区とは対照的な静けさのある空間が河川沿いに作り出されており、訪れた人にとって安らぎを与える都市の backyard(バックヤード)になっている。

■メンバー

- GSES-NU
 - ITO Tatsunori
 - ONO Tatsuya
 - WANG Rou
 - CAROLYN Maitre

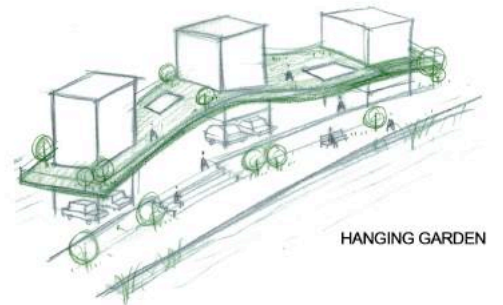
Tianjin Univ.

- AN Ran
 - CAO Zijia

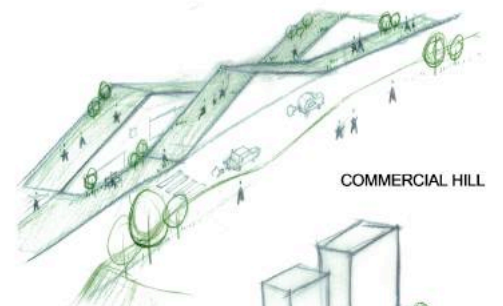




NEIGHBOURHOOD PARK



HANGING GARDEN



COMMERCIAL HILL



SPORTS CENTER



WATER STAIRS

■概要

フラリエを中心とした緑のランドスケープ、浄水場を起点とした水の循環をデザインし、それらが絡むことで久屋大通と新堀川、2つの都市軸のズレの解消を図っている。

設計対象地にすでに建てられた建築に対しては、地上階レベルのピロティ化や建物の高層階にテラスとなる孔をあける操作を加えることで、建物によって分断されていた緑と水、風の流れを動き出させる。

この地全体を、久屋大通公園のアップダウンの多い地形からヒントを得たデザインに統一して設計することで、より都市軸の連続を強調させる。丘のようなジグザグした形態は、屋根・ブリッジ・地形に持ち込まれ、人が集まる場所を多様につくり出している。

■メンバー

GSES-NU

- IKARASHI Chihiro
- KABA Kentaro
- FUJIYOSHI Tomoyo
- MATSUNAGA Haruka
- AUDE Nguyen

Tianjin Univ.

- GUO Pengxi
- HUANG Yushan



■概要

久屋大通公園の軸と新堀川の軸は一見交差しているようだが、間に高速道路が走っており 2 つの軸は分断されている。これが単に景観だけではなく人の流れも断ち切ってしまう。

本グループはフラリエを久屋大通公園の「終点」として延長し、「始点」として新堀川や他の場所へ人を流すプランを提案する。二軸が重なるエリアを大きな広場と捉え、そこに公園を配置し、新堀川に沿って新たな住戸と店舗が建てられる。公園に訪れた人々は新堀川沿いを散歩したり、ショッピングを楽しんだりしながらこのエリアを回遊する。また、公園にはモザイク状のレンタルガーデンが設けられ、フラリエ利用客や周辺住民、小学生徒たちがガーデニングを楽しみながら交流を生み出す場としている。外からの来訪者だけで無く、周辺に住む人々を巻き込みながら地域を包括的につないでいく。

■メンバー

GSES-NU

- FURUTA Daisuke
- MATSUI Naomi
- MINAMOTO Keidai
- WANG Yidang

Tianjin Univ.

- LI Weimeng
- LIU Jiankun

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
天津大学建築学院
交流実績

2009年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2009

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 40 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090413/index.html>>

2009年9月：Japon Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090927/index.html>>

2009年9月：名古屋大学大学院環境学研究科とパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の間で協定及び覚書を締結

報告記事 < <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20091130/index.html>>

2010年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12 名、GSES-NU 大学院生 36 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100412/index.html>>

2010年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010-2

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生約 30 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100921/index.html>>

2011年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2011

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、米国カンザス大学大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年4月：国際建築・都市設計ワークショップ 2012

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9 名、テルアビブ大学学生 9 名、GSES-NU 大学院生 27 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2012

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20120924/index.html>>

2013年4-5月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 17 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>>

2013年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 15 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130916/index.html>>

2014年4月：GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2014

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 21 名、天津大学 1 名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>>

2014年9月：GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2014

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 26 名、GSES-NU 大学院生 7 名、天津大学 4 名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140922/index.html>>

2015年5月：GSES-NU/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2015

(会場：名古屋、GSES-NU 大学院生 17 名、天津大学 8 名が参加)

報告記事< <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20150525/index.html> >

※2011年4月の名古屋でのワークショップは、東日本大震災発生のため中止した。



NAGOYA
UNIVERSITY

PARIS
VAL DE
SEINE
ÉCOLE NATIONALE SUPÉRIEURE
D'ARCHITECTURE